

平成17年12月1日
消 防 庁

「平成17年度救助技術の高度化等検討会・作業部会」の発足

事故・災害時に用いられる救助資機材については、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」等において規定されており、一部の資機材については、「油圧」、「エンジン」等のようにその仕様が明示されているものがあります。

しかしながら、このような仕様規定は新たな技術の導入を阻害する可能性があり、今後は、仕様規定ではなく資機材の性能を規定することが必要になっています。

なお、政府の規制改革の基本方針においても仕様規定はできる限り性能規定化することとしています。

そこで、救助資機材の活用事例や、建設業界等での最新技術の導入状況を踏まえ各資機材の品名や区分等についても見直しを行うとともに、救助資機材の性能規定のあり方について検討を行うこととします。

1 主な検討事項

- (1) 災害時の救助資機材の活用状況
- (2) 救助資機材の性能規定化の有効性
- (3) 性能規定化の手法
- (4) 性能区分、別表区分のあり方

2 委員

<検討会>

蓼沼 朗 寿	財団法人地方公務員安全衛生推進協会 理事長
榊谷 徹	社団法人日本ポンプ協会 救助装備技術部会技術委員長
関根 和喜	横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター長
天野 久徳	独立行政法人消防研究所 消防機械研究グループ長
松井 英樹	札幌市消防局 警防部長
荻野 秀夫	東京消防庁 警防部参事兼警防課長
長尾 一郎	京都市消防局 安全救急部担当部長
吉原 伸二	北九州市消防局 警防部長
上関 克也	総務省消防庁 国民保護・防災部参事官

<検討作業部会>

長尾 一郎	京都市消防局 安全救急部担当部長
赤尾 隆	社団法人日本ポンプ協会 救助装備技術部会技術委員
山田 智	”
伊藤 宏	”
宮坂 征夫	財団法人日本消防設備安全センター 技術部長
関根 和喜	横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター長
天野 久徳	独立行政法人消防研究所 消防機械研究グループ長
松野 晃	札幌市消防局 警防部消防救助課救助係長
山田 哲夫	東京消防庁 警防部救助課救助係長
宮澤 和良	” 装備部管理課課長補佐兼技術係長
富安 謙吾	北九州市消防局 警防部警防課救助係長
中地 弘幸	総務省消防庁国民保護・防災部参事官補佐

3 スケジュール

12月6日に第1回検討会・作業部会、今年度中に作業部会3回、検討会1回を開催して検討結果を取りまとめる予定です。

<連絡先>

消防庁国民保護・防災部 参事官室 中地補佐、堤係長

電話：03-5253-7507

FAX：03-5253-7576